



連合の集会に散々出ていたのに、ある時「連合って？」と聞き周囲をズッコケさせた。「大きなことはすぐに決められるくせに、ランチやコンビニでは決断力ゼロ」との評も

費の助成策などを詰める地道な作業が始まった。福田は両親に「原告団の活動を続けさせて」と頭を下げた。自立への焦りもあったが、自分の役割は終わっていない気がしていた。居場所がなくなることへの不安もあった。

「実名公表して闘った山口（美智子）さんも出田（妙子）さんも、主婦だから、家庭という帰る場所がある。でも私はどこに戻ればいいんだろうって」

「君なら闘うだろう？」 悩んだ末に出馬表明へ

薬害に遭ったからこそ、司法、立法、行政、マスコミの表も裏も見た。普通の20代ではできない社会勉強をしてきた自負があった。それを活かせる次のステップはないか。模索し始めた昨年2月、民主党の山田正彦議員から連絡が入った。

「闘う政治家が必要なんだ。君なら闘うだろう？」
山田は以前、厚生労働大臣と原告団が面談した場に同席していた。舛添を正面に見据え「結局、国民の側ではなく、官僚の側に与するん

ですか」と詰め寄る福田の迫力に圧倒されていた。「国会議員だって大臣を目の前にあそこまで言うのは躊躇するのに、この子はすごいと。度胸があるし、官僚に誤魔化されない感性を持っている」

6月には小沢からも説得を受けた。政治には失望させられた。でも絶対に無理と思われていた扉を開くことができたのは、やはり政治の力だった。そこに希望を見るのか。民主党からの立候補となれば、原告団に迷惑がかかることも気がかりだった。原告団は裁判中から一貫して政治的に中立のスタンスを取り、与野党を問わず協力を訴えてきたのに、自分の立候補で、その中立性に疑念を持たれてしまう危険がある。原告団の一員としての活動もできなくなる。

しかし、ウイルスが陰性になった時から胸の奥に抱え続けてきた「肝炎患者じゃない福田衣里子の存在理由」に対する答えを見つけるチャンスかもしれない。その想いが背中を押した。薬害肝炎問題を通じて世の中には根源を同じくする問題が沢山あることを知った。ミジンコみたいな自分たちが行動したからこそ、国を動かすことができた。薬害肝炎という枠の外に一步踏み出して、自分のできることを見つけた。

出馬表明はやはり原告団に困惑をもたらし「無所属で出るべきだった」との声も聞かれた。今回の取材でも関係者の口は一樣に重く、前述の古賀の取材も、原告団ではなく、裁判中の福田を知る個人の立場で話すのなら、という条件の下だった。「選挙はわずかな期間。当選すれば、立場は違っても同じ目的で協力できる」と踏んでいた福田にとって、解散がこれだけ延びたのも誤算だった。

出馬表明後、小沢から「選挙活動はブックとパントロンでね」とアドバイスを受けた。それから9カ月。小沢流どぶ板を実践してきた。福田は取材中、何度も「20代、恋もしないで終わっていいんですかねえ」と嘆いてみせたが、最後には「議員になって、やりたいことが一杯ありますから」と破顔一笑した。

「It's now or never（今しかない）」は、福田が事あるごとに手帳の片隅に書きつけ、大事にしてきた言葉。この言葉を、再び噛み締める時が迫っている。
(文中敬称略)

石臥薫子

1967年福岡県生まれ。慶應大学経済学部卒。新聞社、番組制作会社などを経て、現在フリーランスのライター、テレビディレクター。本欄では「教育社会学者・本田由紀」を執筆。

■ふくだ・えりこ

- 1980年 長崎市に生まれる。兄2人から10歳以上離れた待望の女の子だった。誕生直後に非加熱製剤クリスマスンの投与を受ける。
- 82年 1歳半の時、父の転勤でロンドンへ。4歳半で帰国。地元の小中学校に進む。
- 96年 長崎西高入学。
- 99年 広島修道大学人文学部入学。心理学を専攻。
- 2000年 休学し、ヨーロッパへ一人旅に出る。
- 01年 4月、C型肝炎に感染していることが判明。8月に受診するも、肝機能数値が悪化するまで治療できないと言われ、落胆。
- 03年 1回目のインターフェロン治療。激しい副作用に苦しむ。刺繍を始める。
- 04年 薬害肝炎九州訴訟に実名を公表し提訴。
- 06年 柳澤伯夫厚生労働大臣(当時)にあてて書いた手紙を民主党議員が代読。「今の私は放っておけば遅かれ早かれ、肝癌になる体です。お嫁さんになる勇気も子供を産む勇気も持てません(中略)あなたにはたくさんの命を救える力があります。どうかひとりでも多くの人の涙が止むように、命が救われるように、お力をお貸してください」
2度目のインターフェロン治療の結果、ウイルスが陰性に。
- 07年 日比谷公園で座り込みやダイ・イン(die in)行動。12月に福田康夫総理(当時)が全員一律救済を表明。
- 08年 薬害肝炎救済法成立。5年にわたる裁判が和解。
9月、民主党からの衆院選出馬を表明。